



島根県の経済情勢

令和 8 年 1 月 29 日

財務省中国財務局
松江財務事務所

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852) 21-5231 (内線 4630)



ざいちゅう

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項 目	前回（7 年 10 月判断）	今回（8 年 1 月判断）	前回 比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

（注）8 年 1 月判断は、前回 7 年 10 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、横ばいの状況にある。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 10 月判断）	今回（8 年 1 月判断）	前回 比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	横ばいの状況にある	一進一退の状況にある	→
雇用情勢	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	→
設備投資	7 年度は前年度を上回る見込み	7 年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	7 年度は減益見込み	7 年度は減益見込み	→
企業の 景況感	「上昇」超幅が縮小している	「上昇」超幅が拡大している	→
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	→
公共事業	前年度を下回る	前年度を下回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が好転する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、今後の物価動向、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

ホームセンター販売は、除雪用器具の販売が低調なことなどから、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、半導体の輸出制限による車両供給の遅れなどから、前年を下回っている。

一方、スーパー販売は、高単価で推移している米など食料品が堅調であり、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、高付加価値の衣料用洗剤などが好調であり、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、ブラックフライデーに実施したセールが好評であったことなどから、前年を上回っている。家電大型専門店販売は、パソコンの買い替え需要などから、前年を上回っている。

また、主要観光施設及び主要温泉地の入込客数は、前年を下回っているものの、神在月の影響に加えてテレビドラマの放映効果などから、観光需要に好調さがみられる。

（主なヒアリング結果）

- 暖冬により、例年に比べ積雪対策の開始に遅れがみられ、除雪用器具の販売が低調。（ホームセンター）
- 欧州の半導体メーカーによる輸出制限の影響で、工場での生産が滞っており、納車までに半年を要する車種もあるなど、車両供給が遅れている。（自動車販売）
- 買上点数は減少しているものの、単価が高水準にある米を中心に食料品は堅調に推移。なお、価格が高騰している牛肉の代替としてニーズのある豚肉と鶏肉についても、飼料価格等の高騰により価格が上昇している。（スーパー）
- 単価上昇に伴う消費者の節約志向から、大容量で香りなどの付加価値を付けた衣料用洗剤が好調。また、地震の影響で水や非常食が売れている。（ドラッグストア）
- ブラックフライデーに実施したセールが好評であり、過去最高の売上を記録した。「今買っておかないと損」という消費者のマインドがうかがえる。（コンビニエンスストア）
- 主要なソフトウェアのサポート終了に伴う買い替え需要が続いており、パソコンが好調。（家電大型専門店）
- 例年閑散期である12月においても、神在月の影響に加えてテレビドラマの放映効果もあって、客室稼働率が好調。（宿泊）
- 店舗間で差はあるものの、テレビドラマの放映効果なども影響し、松江・出雲エリアの売上が好調。（飲食）

■ 生産活動 「一進一退の状況にある」

鉄鋼・非鉄金属は、継続取引先以外からの受注が堅調なことなどから、増加している。輸送機械は、ハイブリッド車向けの部品需要が好調なことなどから、増加している。電気機械・情報通信機械は、概ね横ばいとなっている。

一方、電子部品・デバイスは、部品需要の前倒しによる反動などから、減少している。汎用・生産用・業務用機械は、設備投資需要が停滞していることなどから、減少している。窯業・土石は、原材料の供給不足に伴い生産調整を実施していることなどから、減少している。

- 自動車関連の製造設備向けにおいて、継続取引先以外からの受注が堅調なことに加え、IT関連機器向けにおいて、自社製品のシェアが拡大したことで、生産量が増加している。（鉄鋼・非鉄金属）
- 取引先から増産の打診を受けるなど、ハイブリッド車向け部品の需要が旺盛であり、生産量も高水準で推移している。（輸送機械）
- スマートフォン向けにおいて、部品需要の前倒しによる反動で受注・生産量は減少している。（電子部品・デバイス）
- 原材料費や人件費の高騰を背景に、飲食業界の新規出店が停滞しており、食品関連機器の生産・出荷台数が減少している。（汎用・生産用・業務用機械）
- 原材料調達が難航しており、主力製品を中心に生産に制約が生じているため、在庫状況を考慮しながら生産調整と出荷対応を進めている。（窯業・土石）

■ 雇用情勢 「横ばいの状況にある」

有効求人倍率は、概ね横ばいで推移している。また、法人企業景気予測調査（7年10-12月期）の従業員数判断BSIをみると、「不足気味」超幅は拡大しており、人手不足の傾向が続いている。

- 従来はみられなかったAI導入による事務業務の求人縮小の動きが確認された。システム部門を有する経営体力のある企業では、派遣受け入れ部門の業務がAIに代替され、契約期間満了後の更新が行われないケースが発生している。（人材派遣）
- 県内での人員確保が困難なため、全国から派遣従業員を集めて対応しているが、派遣単価が高い上、寮費も当社負担のため、人件費負担は重い。（電気機械・情報通信機械）
- 近年の最低賃金上昇に伴い、応募数は増えている。一方で、人件費負担を考慮すると、最小限の採用にとどめざるを得ず、一人でも欠員が生じると、業務運営に支障が出る状況となっている。（小売）

■ 設備投資 「7年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 製造業は、生産用機械などで減少するものの、情報通信機械や鉄鋼などで増加することから、全体では増見込みとなっている。
- 非製造業は、電気などで減少するものの、建設や金融、保険などで増加することから、全体では増見込みとなっている。

- 中長期的な部品需要増加への対応を可能とする生産体制の構築を目的とした新棟建設及び設備導入は計画通り進行している。(情報通信機械)
- 老朽化した資材保管用倉庫の更新を実施。(建設)

■ 企業収益 「7年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 製造業は、生産用機械などで増益となるものの、情報通信機械や鉄鋼などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業は、建設などで減益となるものの、情報通信や運輸、郵便などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超幅が拡大している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」7年10-12月期

- 企業の景況判断 BSI は、「上昇」超幅が拡大している。なお、先行きは、「上昇・下降」が拮抗する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家が減少しているものの、貸家などが増加していることから、前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回る」

- 公共工事前払金保証請負金額(年度累計)でみると、国などで増加しているものの、市町村や独立行政法人などで減少していることから、前年度を下回っている。

島根県の経済情勢

資料編

目次	ページ
1. 個人消費 -----	1
2. 生産活動 -----	3
3. 雇用情勢 -----	4
4. 設備投資 -----	5
5. 企業収益 -----	5
6. 企業の景況感 -----	6
7. 住宅建設 -----	6
8. 公共事業 -----	6

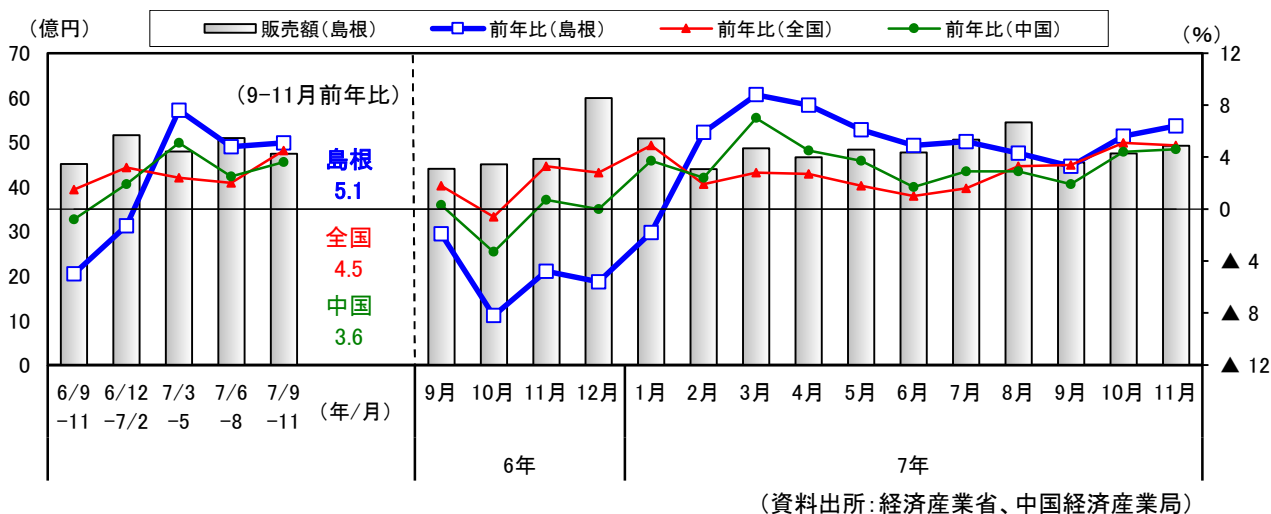
※ 本資料のグラフは各機関の公表数値を基に作成している。なお、公表されていない一部項目の数値については、当所で算出している。

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852)21-5231(内線 4630)

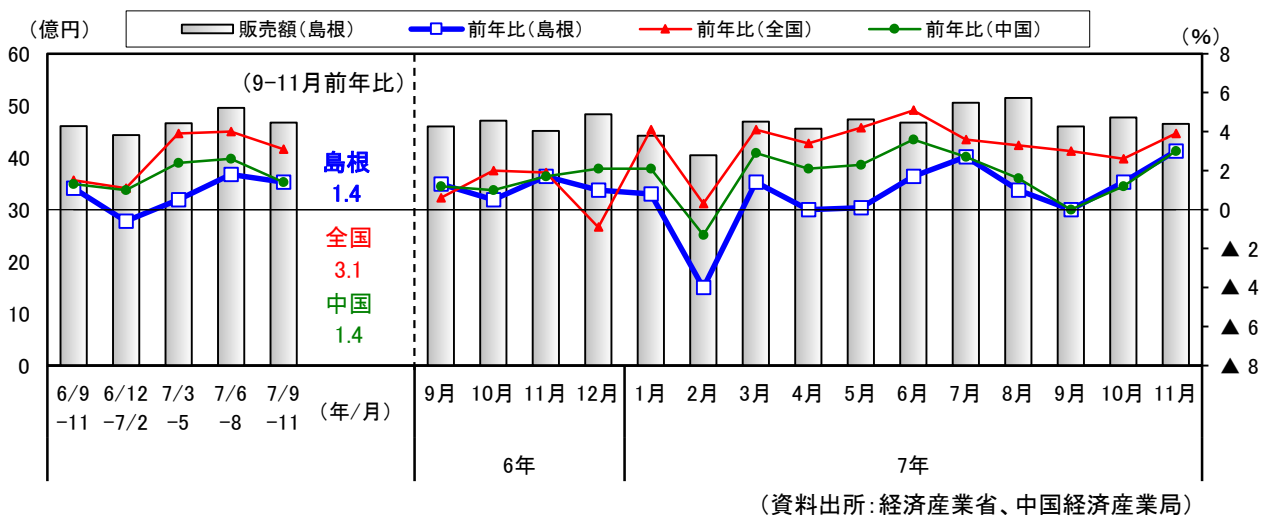
1. 個人消費 持ち直している

(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示

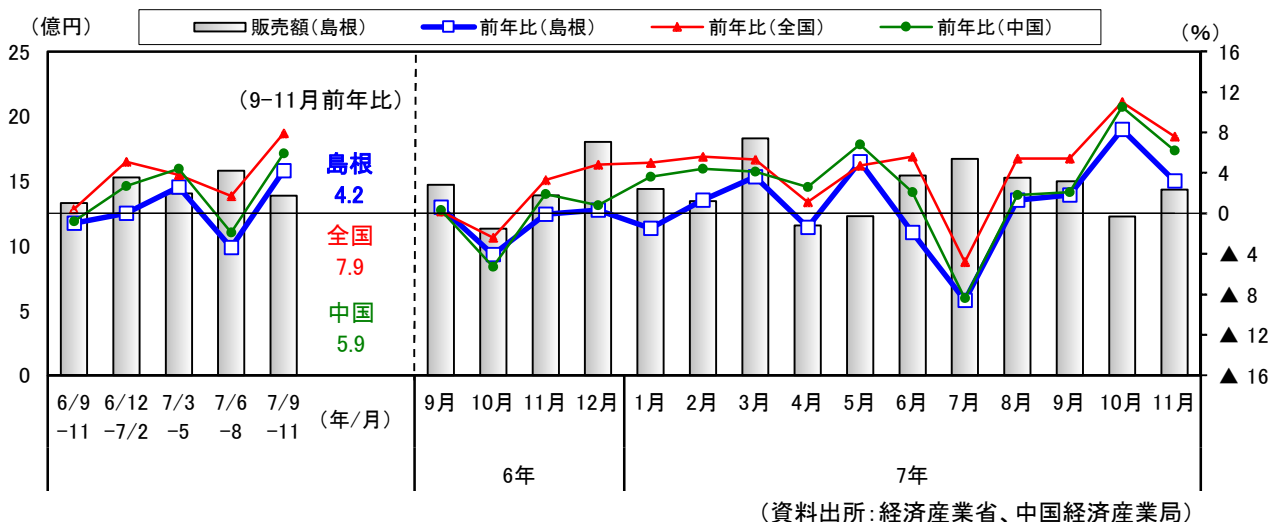
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗)



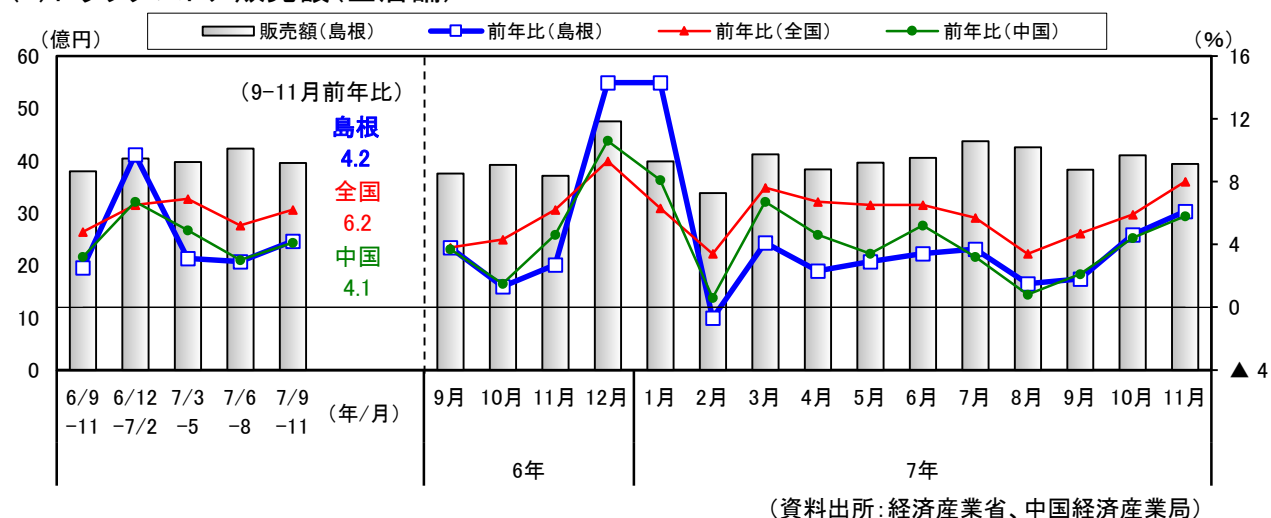
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗)



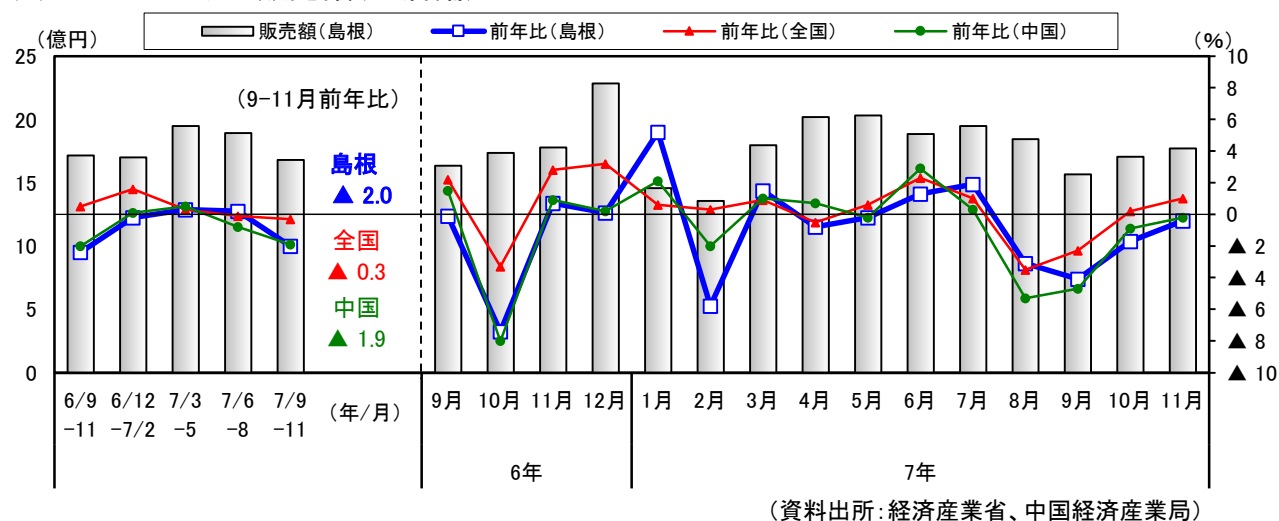
(3)家電大型専門店販売額(全店舗)



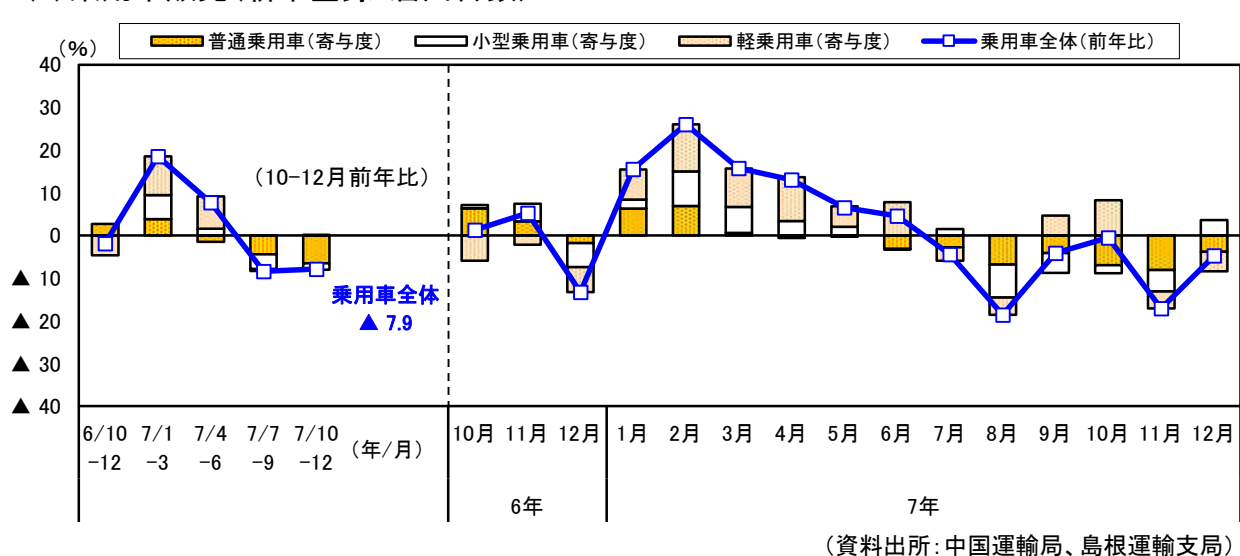
(4)ドラッグストア販売額(全店舗)



(5)ホームセンター販売額(全店舗)



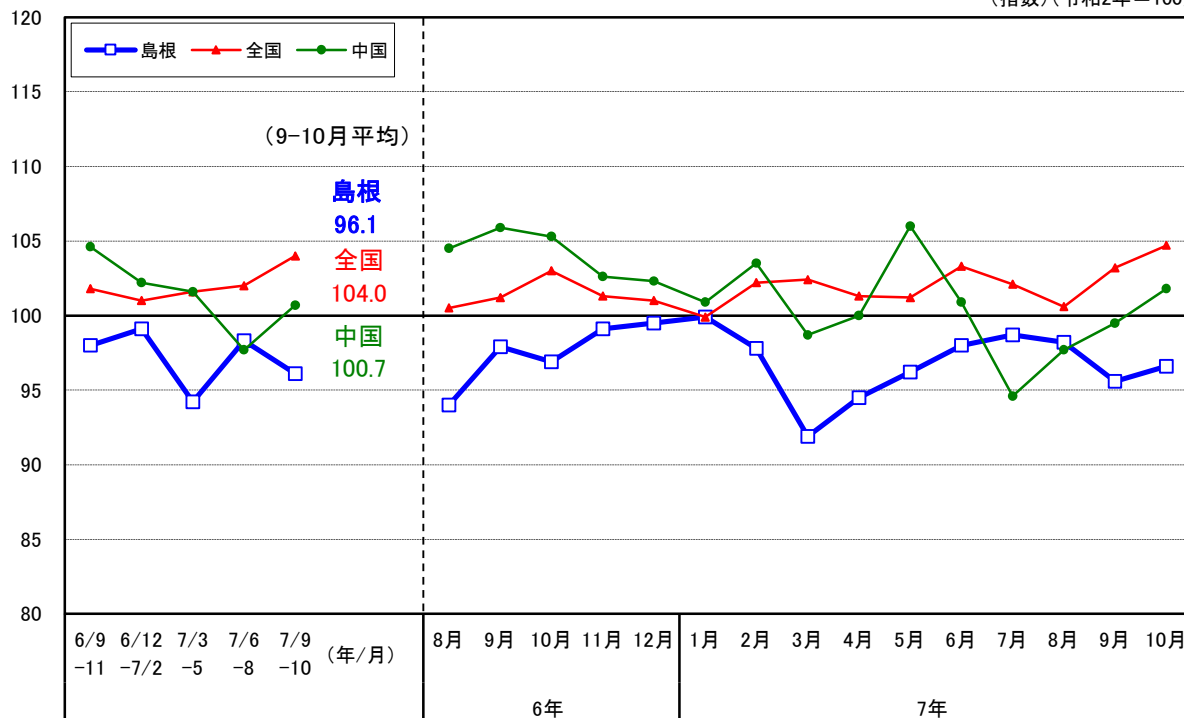
(6)乗用車販売(新車登録・届出台数)



2. 生産活動 一進一退の状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

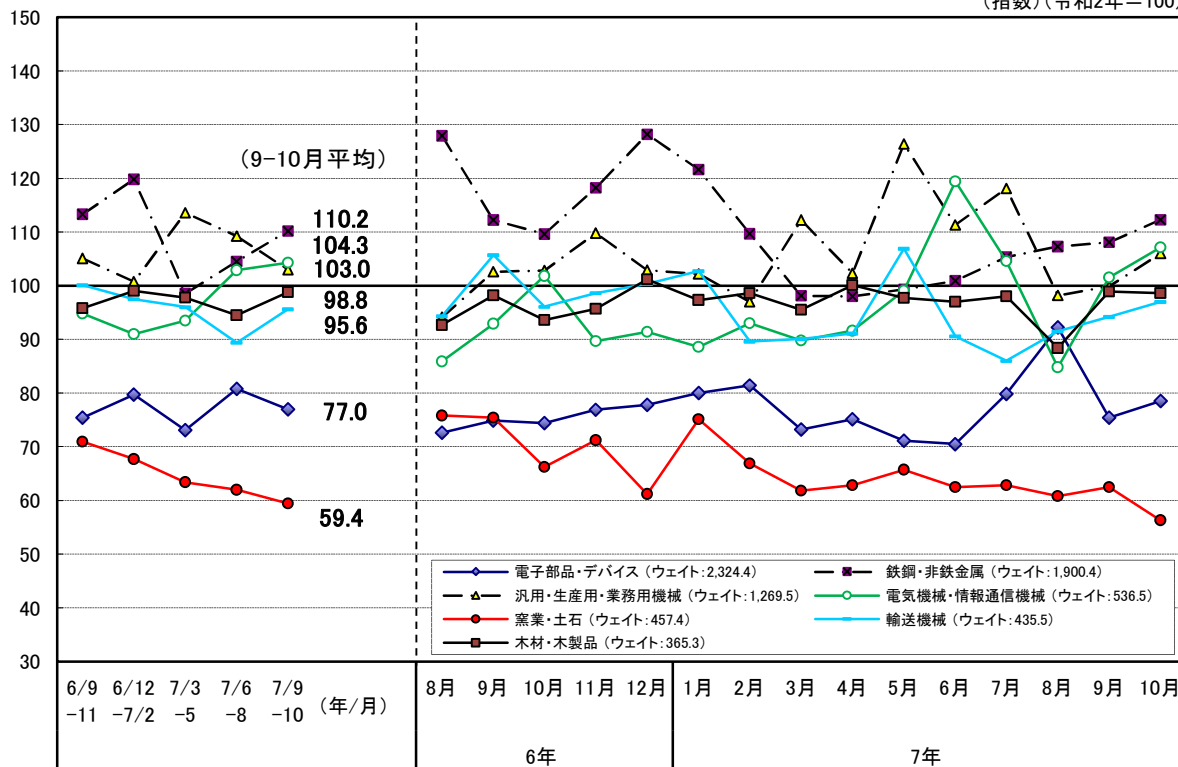
(指数)(令和2年=100)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局、島根県統計調査課)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数)(令和2年=100)

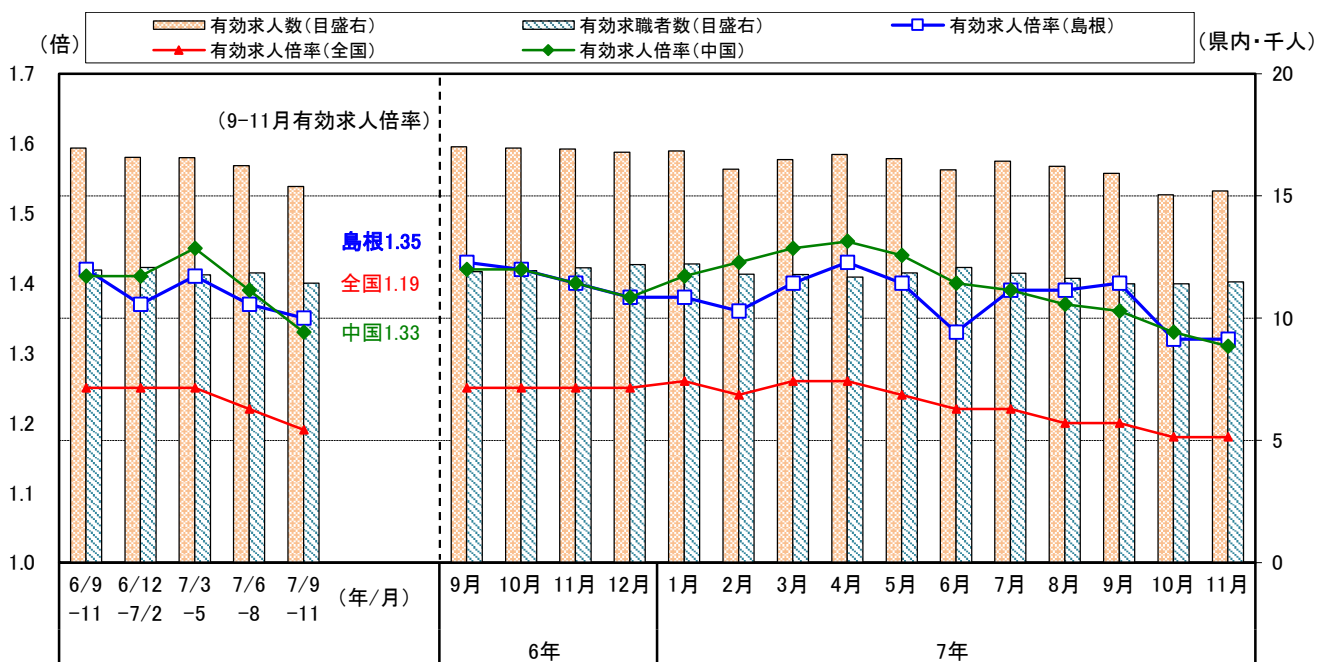


(資料出所: 島根県統計調査課)

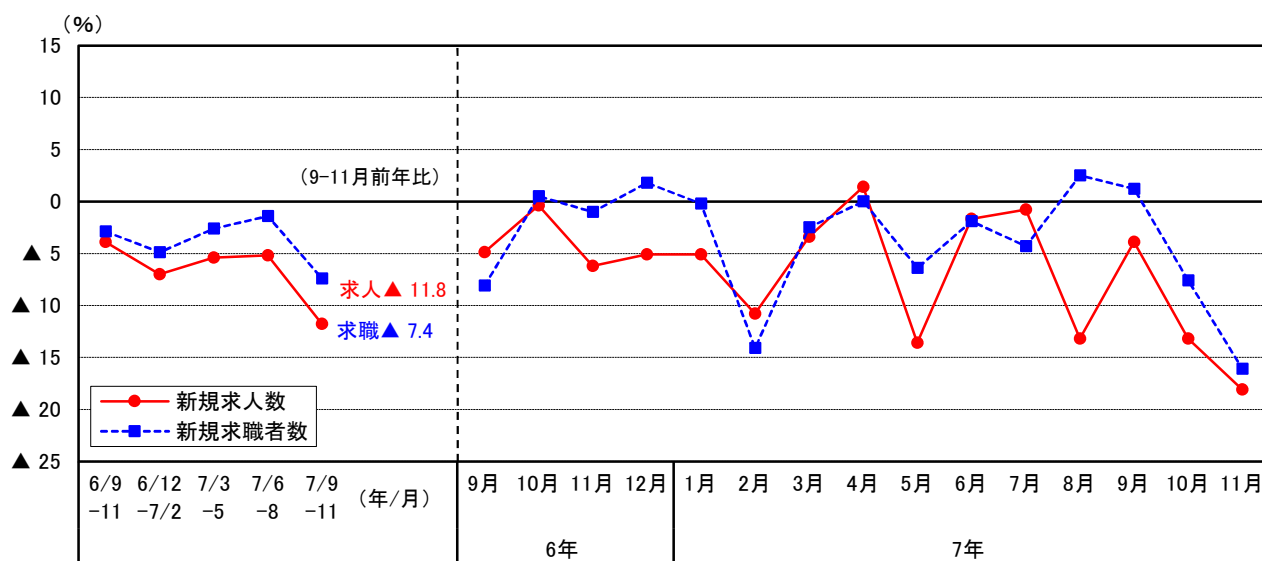
3. 雇用情勢 横ばいの状況にある

(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

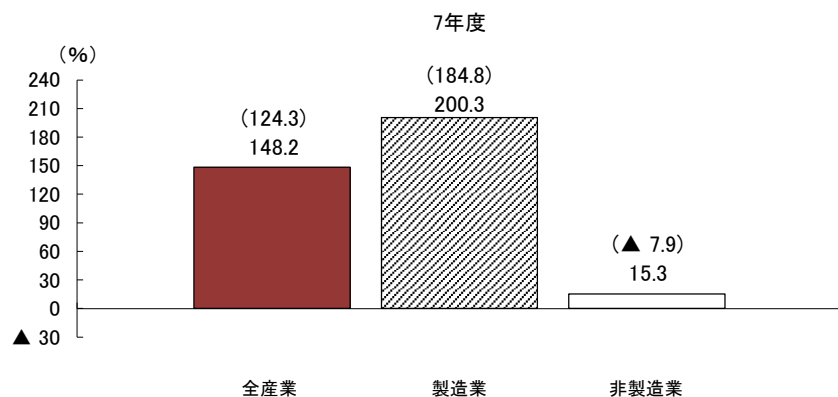


(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



4. 設備投資 7年度は前年度を上回る見込み

設備投資の前年度比増減率

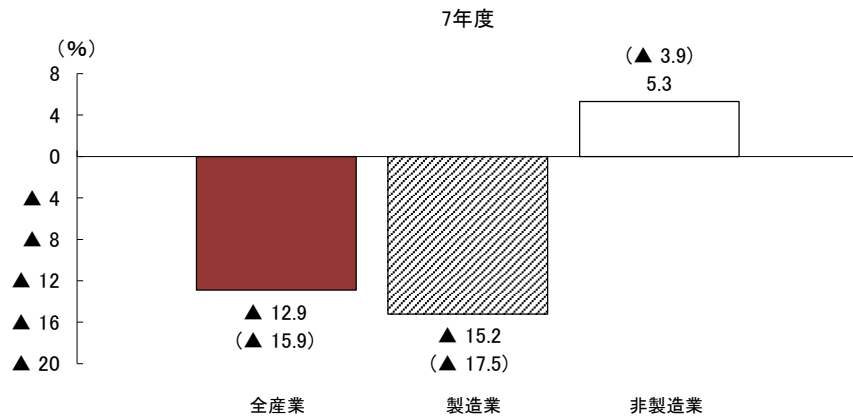


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(7年10-12月期)結果
 2. 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む。
 3. ()書きは前回(7年7-9月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

5. 企業収益 7年度は減益見込み

経常利益の前年度比増減率

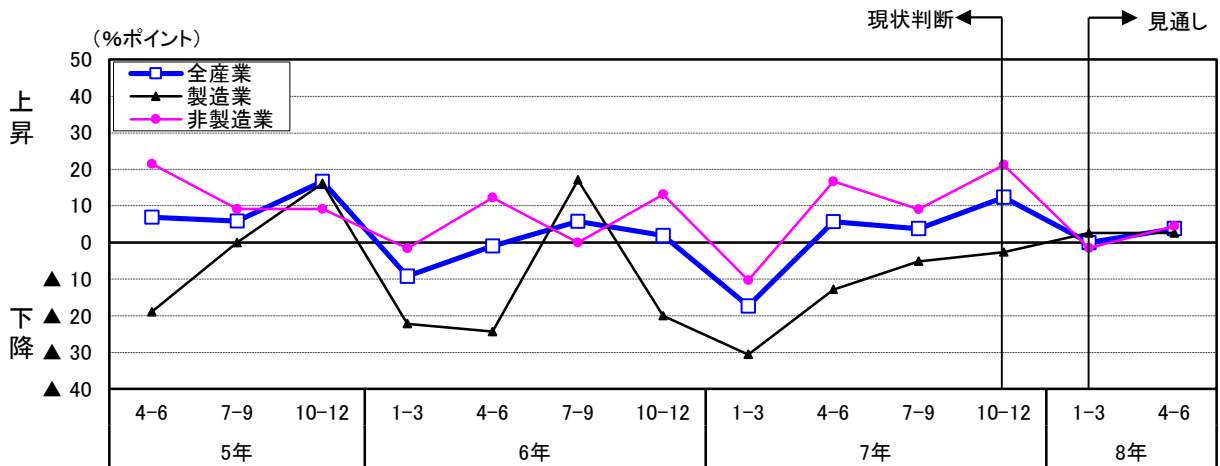


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(7年10-12月期)結果
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く。
 3. ()書きは前回(7年7-9月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

6. 企業の景況感 「上昇」超幅が拡大している

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

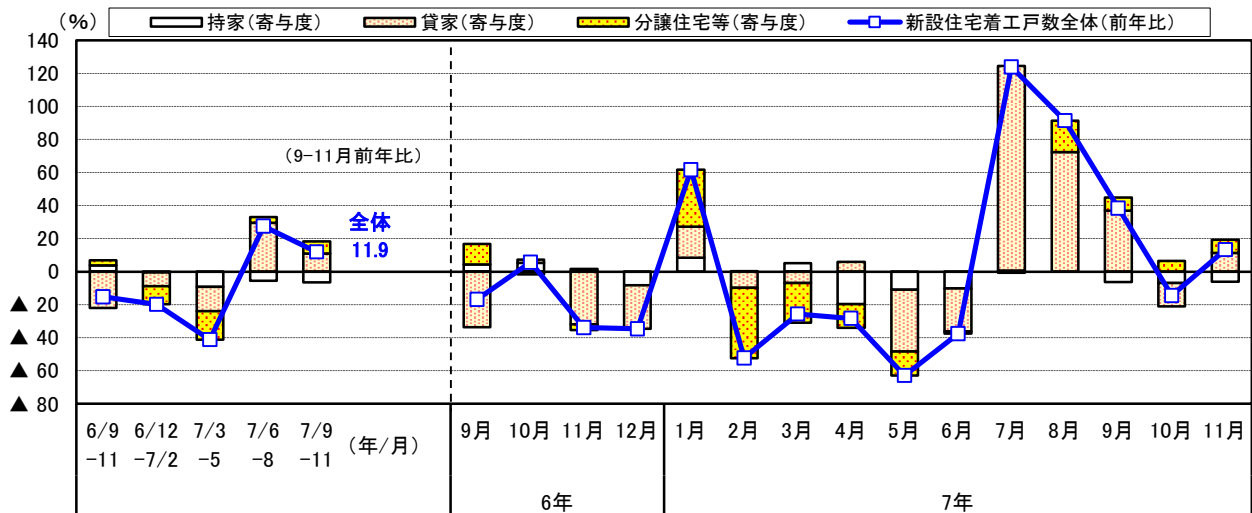


(注)法人企業景気予測調査(7年10-12月期)結果

(資料出所: 松江財務事務所)

7. 住宅建設 前年を上回る

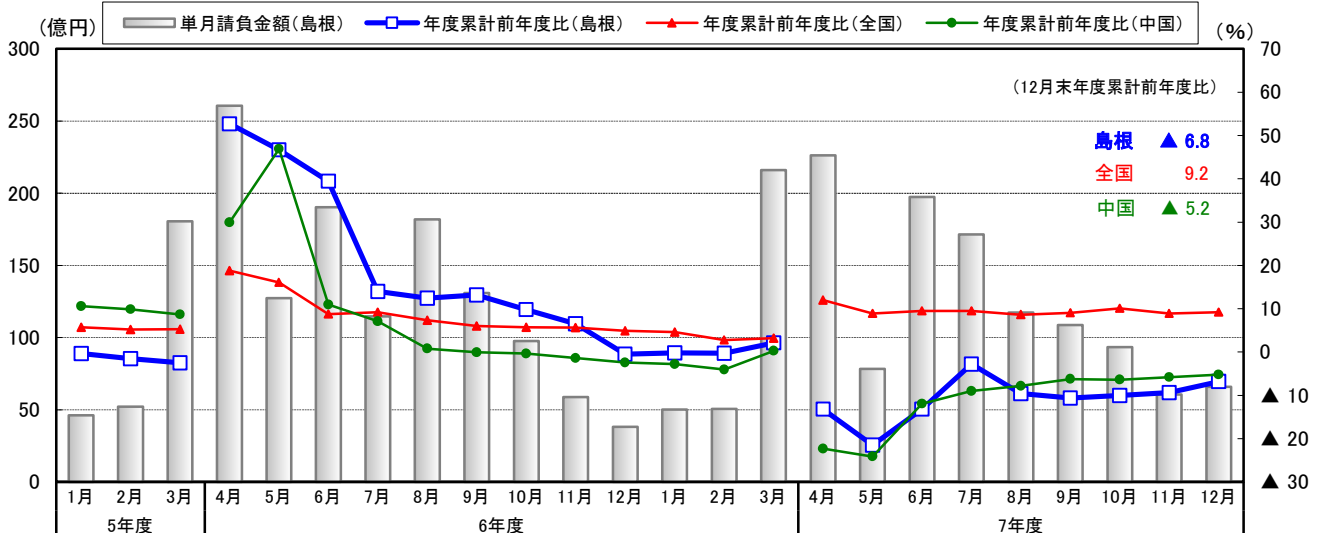
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 公共事業 前年度を下回る

公共工事前払金保証請負金額(年度累計前年度比)



(資料出所: 各建設業保証(株))